



英国の自動車「MINI」スウィンドン工場が IFS で業務を効率化

MINI スウィンドン工場は、同社の ERP システムを IFS Applications 7.0 にアップグレードし、工場間の連携を強化し、業務効率を改善しました。同工場は、MINI（自動車）のプレス加工品を製造しています。IFS のソフトウェアのアップグレードによって、業務を効率化し、スムーズで無駄のない操業が可能になりました。

背景

2002 年、MINI スウィンドン工場は旧システムを IFS Applications に置換しました。これは、2000 年 5 月に、同工場が IFS を ERP ソリューションのプロバイダーに選定したことから始まりました。この導入には、ライセンス、コンサルティング・サービス、保守サポートが含まれ、約 300 人の同時ユーザーを支援するための包括的な導入サービスが提供されました。導入プロジェクトは 3 つのフェーズに分割され、特定のビジネスプロセスとそれぞれのレガシーシステムがその対象でした。第 1 フェーズでは、2001 年末までにすべての会計と購買システムが置換されました。また、このフェーズでは、いくつかのデータ保存システムの構築と、後続のフェーズに備えて基本データの設定が行われました。

第 2 フェーズでは、2002 年の夏に同工場の中核業務である生産のソリューションが本稼動を迎えました。同フェーズでは、ロジスティクスおよび生産を支援するシステムが置換されました。第 3 フェーズでは、個別に導入することが可能な人事管理、保守管理、エンジニアリングなどのコンポーネントや、他との連動を必要としないいくつかの業務システムが導入されました。その後、2009 年に同工場は IFS Applications のアップグレードを決定し、MINI スウィンドン工場とオックスフォードの工場を統合しました。

導入

MINI スウィンドン工場のシステムは、IFS の当時の最新バージョンである IFS Applications 7.0 にアップグレードされました。このアップグレードに伴い、同工場は、在庫管理、生産、スケジューリングなどの多数のモジュールを追加し、機能強化を図りました。このシステムには、新たにプレス加工ラインの監視と管理に使用する監視機能も加わり、監視が容易になった上に、生産プロセスも合理化されました。この新たに加わった監視機能の一部として、現在、IFS Applications は生産ラインの終端の機械監視にも使用されています。このシステムでは、プレス機からのデータを取り出し、これらを分析して業務を見直し、より効率的な操業を可能にします。最終的に、このアップグレードは、計画に 9 か月を要し、実際の導入は 4 日間という非常に厳しいスケジュールで行われました。なぜなら、アップグレードは、MINI スウィンドン工場のその



年の唯一の操業停止期間内に実施する必要があったからです。プロジェクトの責任者であり、IFS UK のシニアコンサルタントであるアンドリュー・ペティット（Andrew Pettit）は、次のように述べました。「当社は柔軟性のある協業しやすいベンダーであると自負しています。MINI スウィンドン工場のアップグレードプロジェクトでは交渉の余地のないスケジュールが提示されました。我々は、MINI スウィンドン工場のビジネスモデルをしっかりと理解した上でこの期限に合意し、そして、これは最も重要なことですが、予定どおりに完了することができました」

成果

現在、MINI スウィンドン工場は、アップグレードした IFS のシステムを使用して、プレス加工ラインをさらに効率的に監視し、管理しています。いまや IFS のシステムは、2つの工場を結ぶ唯一のシステムとして機能し、スウィンドン工場はオックスフォード工場から「瞬時に」スケジュールを受け取ることができます。IFS Applications は、これらの拠点を効果的に結びつけ、一貫した操業体制を可能にする重要なかけ橋となっています。ペティットは、次のように述べました。「長年にわたる MINI スウィンドン工場との協業によって、素晴らしいパートナーシップを築けたことを光栄に思います」

導入成果

- 業務システムをIFS Applicationsの最新版にアップグレード
- より効率的なプレス加工ラインの監視と管理
- スウィンドン工場とオックスフォード工場を連携
- スケジュールを「瞬時に」やり取り可能